別紙

天文講座「神山天文台が迫る宇宙の不思議」

【内容】

京都産業大学では、2009 年に私立大学では国内最大級となる口径 1.3m望遠鏡を備えた本格的な研究観測施設として、神山天文台を設置いたしました。現在、神山天文台では専属スタッフや理学部の教員そして学生たちが昼夜を問わず観測・機器開発を行っています。本講演では、神山天文台におけるさまざまな活動を紹介し、神山天文台が明らかにした宇宙の謎について紹介します。

【講師紹介】

■講演講師　河北秀世 京都産業大学神山天文台長・理学部教授

■プロフィール

理学部教授、神山天文台長。博士（理学）。専門は天文学・惑星科学。
太陽系の歴史を紐解く鍵となる彗星の研究を主に行っている。
2004 年には彗星の研究で Zeldovich 賞など国内外の賞を受賞。
2005 年から京都産業大学に勤務。
2010 年より本学神山天文台・台長。
2015 年には国内 50 学協会から構成される日本地球惑星科学連合より、彗星科学への貢献に対して、第一回地球惑星科学振興西田賞を受賞している。

■研究テーマ・内容

彗星物質から探る太陽系の起源、原始惑星系円盤・原始星エンベロープから探る星間物質の化学進化、新星爆発における固体微粒子形成といった テーマを研究中。私たちの太陽系をはじめ、星・惑星系の起源について、銀河系における化学進化という観点から研究を行っている。

【京都産業大学神山天文台】

本学創設者の荒木俊馬博士が宇宙物理学・天文学の研究者であったことなどを背景に、2009 年に設置。私立大学では国内最大級となる「荒木望遠鏡」（口径 1.3mの反射式望遠鏡）と様々な観測装置、ならびに各種の実験・開発機器を備えている。

【綾部市天文館パオ】

95cm 反射式望遠鏡や 150 インチ大画面ハイビジョン、各種展示設備を備えた本格的な天文台。綾部市の市政 45 周年を記念して 1995 年 5 月にオープン。毎週金・土・日曜日には夜間観望会が開催されている。

本件に関するお問い合わせ先

京都産業大学 学長室（連携推進担当）（担当：髙橋・片岡）
TEL：075-705-2952／メール：renkei-tanto@star.kyoto-su.ac.jp

綾部市天文館パオ（担当：大槻）
TEL：0773-42-8080／メール：tenmonkan@city.ayabe.lg.jp